システムキッチン
収納ユニット　取付・設置説明書

この説明書はお客様に
必ずお渡しください。

必ずお守りください

表示について

この取付・設置説明書では、製品を安全に正しく取付・設置し、お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、下の表示をおこなっています。いずれも使用者の安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告　この表示を無視して、誤った設置をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った設置をすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。

この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。

シンクキャビネットに同梱されている取扱説明書は、お客さまにお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付・設置完了後、お引き渡し時にお客さまにお渡しください。

⚠警告

天吊ウォールキャビネットの取付けは専用の連結ボルトで取付・設置説明書とおり正しくおこなう。
キャビネットが落下して、けがをするおそれがあります。

キッチン取付・設置

ウォールキャビネットの設置は、建築壁の構造を確かめて正しく取付ける。
ウォールキャビネットが落下して、ケガをするおそれがあります。

大工工事（取付下地）　キッチン取付・設置

収納ユニットの設置は、建築床の構造を確かめて正しく取り付ける。
床がたわんだり、床が損傷するおそれがあります。

大工工事（取付下地）　キッチン取付・設置

電気工事・管工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」がおこなう。
火災・感電・ガス漏れ・水漏れの原因になることがあります。

建設工事（電気工事・管工事・大工工事・建具工事）は関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」がおこなう。
守らない場合は、法令に違反します。

⚠注意

壁付けのキャビネットは必ず壁面に固定する。
転倒してけがをするおそれがあります。

キッチン取付・設置

棚板を設置するときは、棚受けを隙間のないように奥まで差し込み、棚板を確実に載せてください。
棚板がはずれ収納物が落下して、けがをするおそれがあります。

キッチン取付・設置

取付・設置完了後は、扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみのないことを必ず確認する。
使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。

キッチン取付・設置

組込まれる電気機器・その他機器については、それぞれの施工（取付・設置）説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

電気工事　キッチン取付・設置

キャビネットを設置する際には水平・垂直のレベルを出す。
水平・垂直のレベルがでていないと、正しく取付けることができません。

キッチン取付・設置

取付け・仕上げに使われる溶剤、接着剤、洗剤、その他薬品類については、記載されている注意事項に従って、正しく使用する。
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や、劣化の原因になります。

キッチン取付・設置

本製品のホルムアルデヒド発散区分

表示内容					
1	商品名	システムキッチン	6	ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	PB F☆☆☆☆ MDF F☆☆☆☆ 合板 F☆☆☆☆ 接着剤 F☆☆☆☆
2	企業名	株式会社 LIXIL			
3	ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F☆☆☆☆			
4	表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチン・バス工業会表示指針による	7	本表示に対するお問い合せ先	お客さま相談センター TEL・FAXは、キッチン取扱説明書（裏表紙）に記載。
5	製造番号又は年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認ください。			

VOC放散性能	4VOC基準適合（木質建材）
表示ルール	住宅部品VOC表示ガイドラインによる

※4VOCとは、トルエン·キシレン·エチルベンゼン·スチレンを示す。

設置前の確認

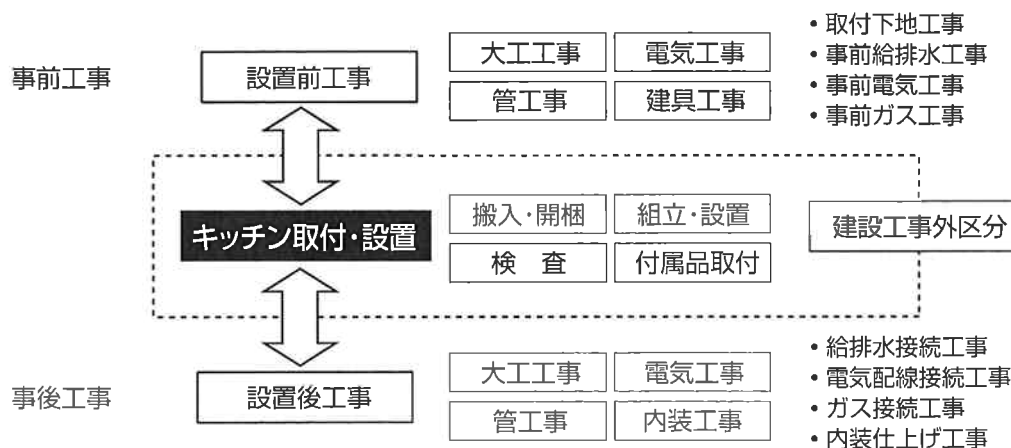
1. 設置場所の水平・垂直・コーナーの直角度等のレベルが出ているか確認してください。
2. 電気製品の配線接続位置を確認してください。
3. ウォールキャビネットを取付ける壁面の強度、また必要な個所に取付桟がはいっているか確認してください。
4. 天吊ウォールキャビネットを取付ける天井の強度、また必要な個所に取付桟がはいっているか確認してください。
5. 窓枠、ドア枠などと製品（引出しなどが完全に引出せるか）が干渉しないか確認してください。
   干渉する場合は、すき間埋め部材（ひも材）をご使用ください。収納ユニットフロアキャビネットの時、サービスカウンターの間口サイズも確認ください。
6. 注文した製品と納入された製品の左右勝手、ガス種、周波数などを確認してください。
7. 付属部品を確認してください。

※上記内容に不備がある場合は手直しが必要です。建設工事として手直しが必要な部分は関連する法令・規定にしたがって工事をおこなってください。

工事区分

⚠警告

本説明書は、システムキッチン本体組立・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。
建設工事は、関連する法令・規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。
流通業者様（販売店様等）を通して本体の取付・設置をおこなう場合は、「建設工事」と「キッチン本体組立・設置」を区別しておこなってください。

■「キッチンの取付・設置」とユニット工事区分

※キッチンの取付・設置以外は、下記の資格等条件を有した者が工事をおこないます。

工事区分	資格等条件
電気工事	第一・二種電気工事士・電気主任技術者・建築設備士など
大工工事	一・二級建築士・建築大工「技能検定」合格者など
管 工 事	一・二級管工事施工管理技士・建築設備士・給水装置工事主任技術者など

製品の種類

設置手順

工事区分

- カップボード上置＋収納ユニットフロアキャビネット
- ウォールキャビネット＋ハイカウンターキャビネット
- 天吊ウォールキャビネット＋収納ユニットフロアキャビネット＋バックパネル
- 家電収納ハイカウンターキャビネット

大工工事

取付桟の取付け、床面の補強
(→1．事前工事（建設工事）「1－1．取付桟の取付け」、「1－3．床面の補強について」を参照

電気工事

電源線の取出し・コンセントの取付（※棚下照明などを取付ける場合）
(→1．事前工事（建設工事）「1－2．電源線の取出し・コンセントの取付けについて」を参照

電源線の取出し・コンセントの取付（家電収納ハイカウンターキャビネット）
(→1．事前工事（建設工事）「1－2．電源線の取出し・コンセントの取付けについて」を参照)

キッチン工事

キャビネットの連結
(→4．各収納キャビネットの取付け「4－1．収納ユニットフロアキャビネットとカップボード上置の連結」を参照
(→4．各収納キャビネットの取付け「4－2．収納ユニットフロアキャビネットの連結」を参照)

キャビネットの壁面固定
(→4．各収納キャビネットの取付け「4－3．カップボード上置と収納ユニットフロアキャビネットの壁面固定」を参照)

天吊ウォールキャビネットの取付け
(→4.各収納キャビネットの取付け「4－6．天吊ウォールキャビネットの取付け」を参照)

キャビネットの取付け（家電収納ハイカウンターキャビネット）
(→「5．家電収納ハイカウンターキャビネットの取付け」を参照)

サービスカウンターの固定
(→4．各収納キャビネットの取付け「4－4．サービスカウンターとダイニングフロアキャビネットの取付け」を参照)

バックパネルの取付け
(→4．各収納キャビネットの取付け「4－5．バックパネルの取付け」を参照)

電気機器の取付け
(※棚下照明などを取付ける場合)

電気機器の取付け（家電収納ハイカウンターキャビネット）
(※電気機器に同梱されている取付・設置説明書を参照)

電気工事

電源線の接続
(※電気機器に同梱されている取付・設置説明書を参照)

電源線の接続（家電収納ハイカウンターキャビネット）
(※電気機器に同梱されている取付・設置説明書を参照)

キッチン工事

仕上げ・付属部品の取付け
(→「7．仕上げ・付属部品の取付け」を参照)

引出し・扉の調整
(→「6．引出し・扉の調整方法」を参照)

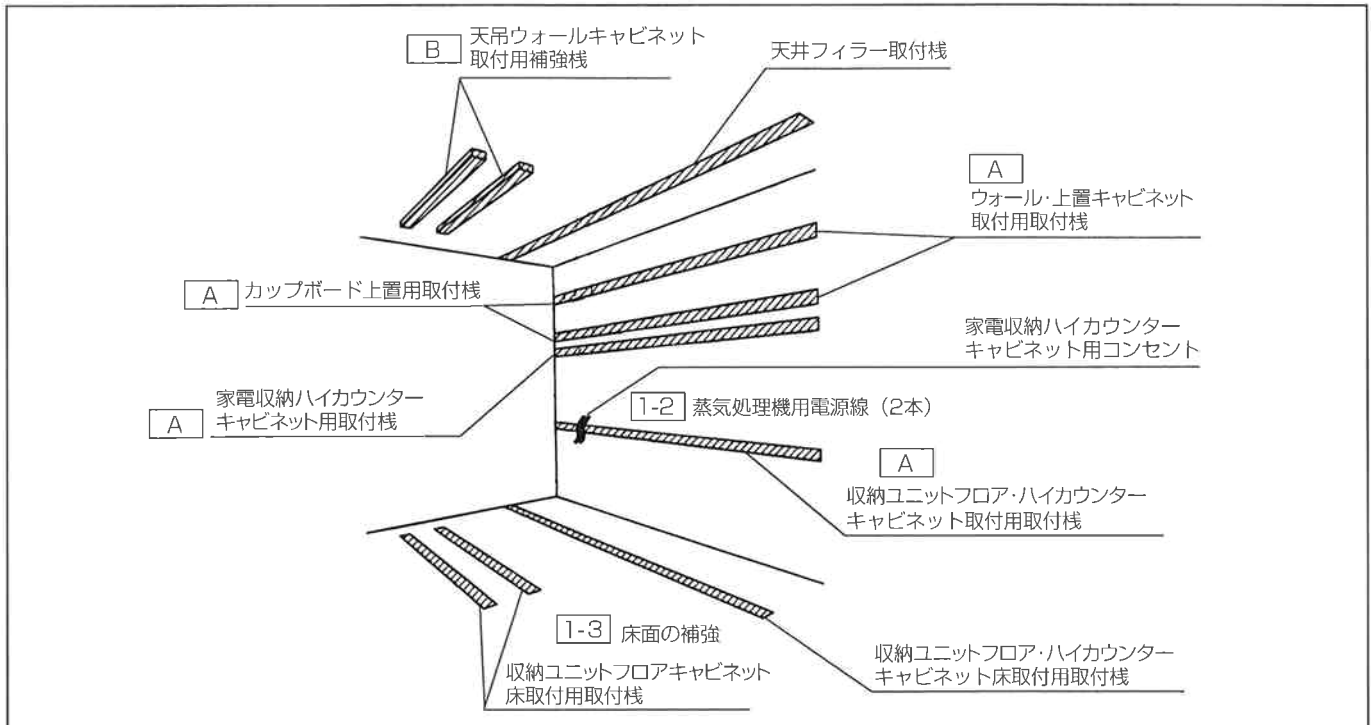
内装工事／キッチン工事

目地処理
※キッチンと壁面床面等の間をシリコーン等で目地処理する場合は、内装工事となる場合があります。

※ キッチン工事 －キッチン取付・設置工事

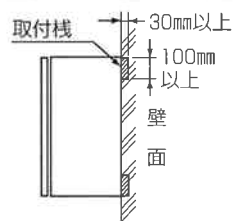
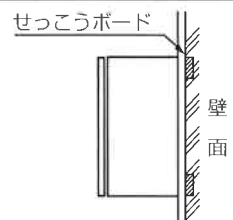
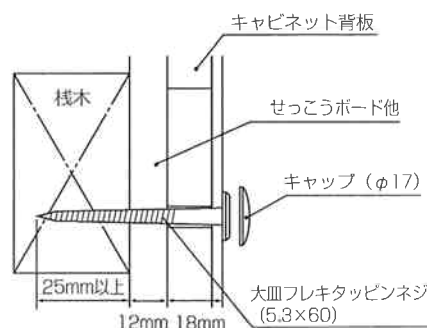
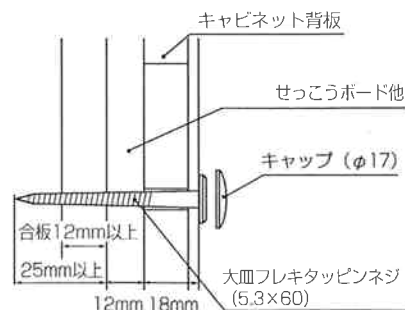
1 事前工事（建設工事）

1-1 取付桟の取付け 大工工事

A．ウオールキャビネット・家電収納上置・カップボード上置・ハイカウンターキャビネット・収納ユニットフロアキャビネット・家電収納ハイカウンターキャビネット（天吊ウォールキャビネットを除く）

⚠ 警告

以下の事項と条件を必ず守って取付・設置する。
守らないとウォールキャビネットの落下、カップボードが転倒するおそれがあります。

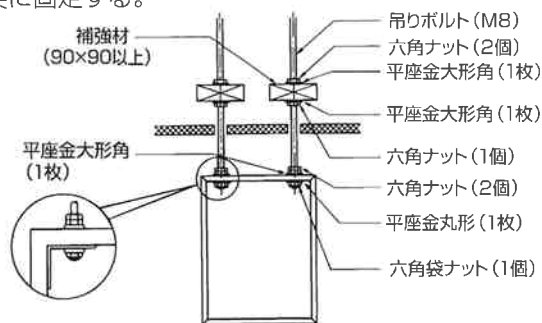
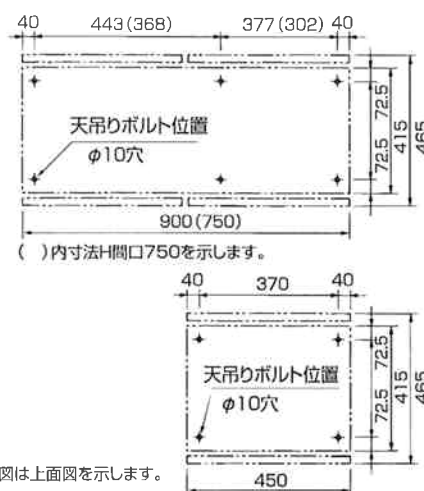
取付桟の取付けは、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」がおこなう。
●本体重量と収納重量の荷重に対して、取付桟が落ちないだけの強度をもたせる。
（300kg/1キャビネット当たり）柱などに確実に固定

（埋込みの場合）
ウォールキャビネットを取付・設置する壁面に、取付桟を埋込んでください。

（せっこうボードの場合）
せっこうボードで仕上げる壁面は、せっこうボードの内側に取付桟を取付けてください。

（桟木の場合）
●取付桟は硬い材料（広葉樹、マツ・ツカ等の強度のある針葉樹および合板）で、虫くいや、くされのない木材を使用する。取付桟は厚さ30mm以上、幅100mm以上が必要です。
（合板は厚さ12mm以上あれば使用可能）
取付ネジは必ず同梱しているネジを使用し、取付桟に 25mm以上かかるようにする。

（合板の場合）
●合板を取付桟として使用する場合は厚さ12mm以上のものを使用してください。
●取付ネジは必ず同梱しているネジを使用し、取付桟に25mm以上かかるようにする。

B．天吊ウォールキャビネット

⚠ 警告

以下の事項と条件を必ず守って取付・設置する。
守らないとウォールキャビネットが落下するおそれがあります。

取付桟の取付けは、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」がおこなう。

- 吊りボルトを取付ける天井には、本体重量と収納重量の荷重に十分耐えられる強度をもたせる。（最大300kg/1キャビ当り）
- 吊りボルトを固定するための補強材は90mm×90mm以上の角材を使用してください。補強材は梁等に確実に固定する。

- 天吊ウォールキャビネット900、750間口は吊りボルト6本、450間口は吊りボルト4本で確実に固定してください。

1-2 電源線の取出し・コンセントの取付けについて 電気工事

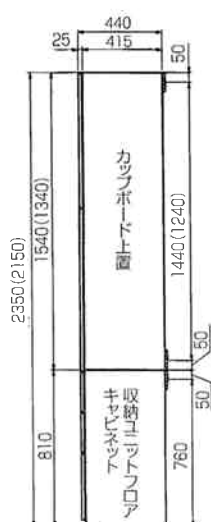
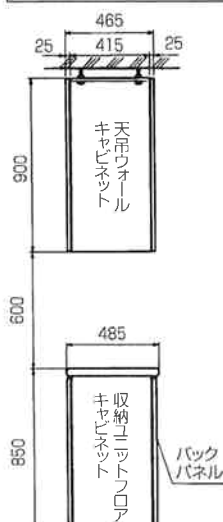
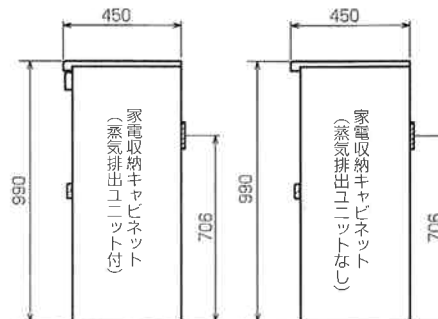
⚠警告 電源線の取出し・コンセントの取付けは、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」がおこなう。

1-3 床面の補強工事について 大工工事

⚠警告

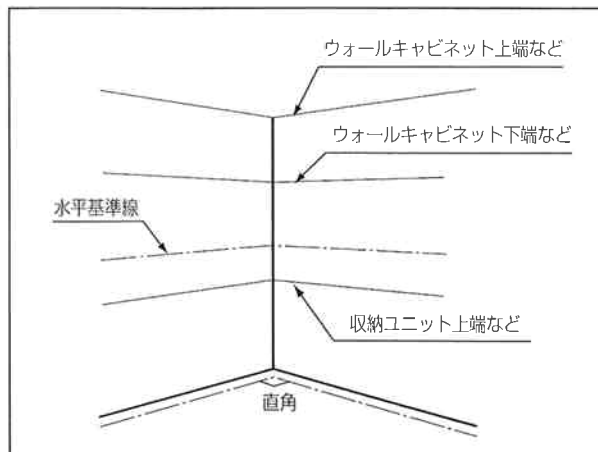
- 床面の補強は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」がおこなう。
- 200kg/1キャビネット程度の重量があるのでそれに耐えられる床の補強を依頼してください。
  特に2重床の場合は補強用支持脚を225～310mm程度の間隔で設置することをおすすめします。

2 取付位置・基準線の出し方

2-1 取付位置

2-2 基準線の出し方

⚠注 意

取付・設置前に必ず設置場所の水平、垂直、直角度、レベルなどを正確に調べる。
これを基準にキャビネットを取付ける。
ウォールキャビネットの水平が出ていない場合、扉キャッチが正常に作動せず、けがをするおそれがあります。

①レーザーや水準器等で各コーナーにポイントを取り、水平基準線を打ってください。
水平基準線より上記の取付位置または取付図を参考に基準線を求めて墨を打ってください。
②床、壁面、天井の直角な交わりと水平、垂直をレーザーまたは下げ振り、水準器等で確認してください。

3 同梱部品一覧表

⚠注 意

必ず指定のネジ類を使用する。
使用しないと、商品の落下などによりけがの原因となります。

取付・設置で使用するネジを固定する場合は、必ずドライバーでおこない、しめすぎによるネジの空回り、頭つぶれのないようにする。
固定ネジがきかないと、キャビネットなどが落下してけがの原因となります。

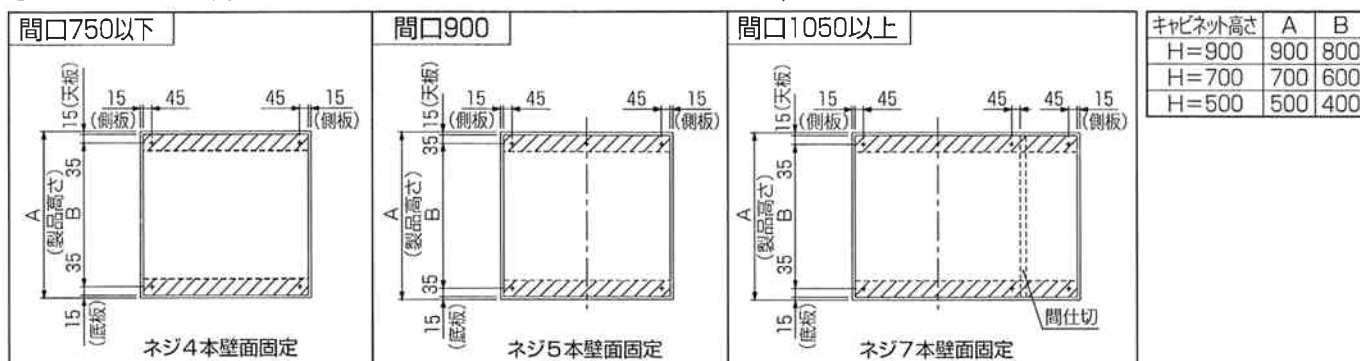
■同梱部品一覧表（プランによっては付属されていない部品があります。）

部 品 名	形 状	用 途	袋 詰 め
大皿フレキタッピンネジ 5.3×60（キャップφ17付）		・壁面固定用	
皿タッピンネジ 4.5×27（頭白塗装）		・キャビネット連結用 ・エンドパネル固定用	
サービスカウンター固定用金具		・キャビネットと サービスカウンター固定用	
サービスカウンター固定用ネジ 4×10		・キャビネットと サービスカウンター固定用	
サービスカウンター固定用ネジ 4×30		・キャビネットと サービスカウンター固定用	
サービスカウンター固定用ネジ 4×30		・キャビネットと サービスカウンター固定用	
棚板受け金具		・樹脂製棚板受け用	
穴埋めキャップ（φ10） ライトグレー色：2コ ホワイト色：2コ		・壁面固定穴隠し用	
電源線（1.5m：2本）		・蒸気排出ユニットとコンセント配線用	
1口×2　コンセント		・家電収納ハイカウンター キャビネット用コンセント	

4 各収納キャビネットの取付け

4-1 ウォールキャビネットの壁面固定

①取付桟の位置を確認した上でキャビネット背板の取付ネジ位置にあらかじめ下穴(φ4.5～φ5)をあけてください。
②キャビネットを同梱のネジで固定してください。続いてキャップ(φ17)を取付けてください。

キャビネット高さ	A	B
H=900	900	800
H=700	700	600
H=500	500	400

4-2 収納ユニットフロアキャビネットとカップボード上置の連結

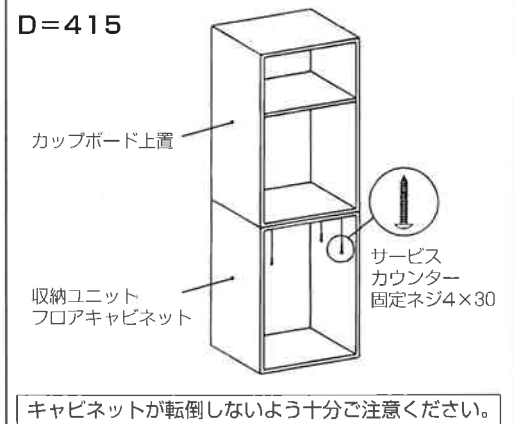
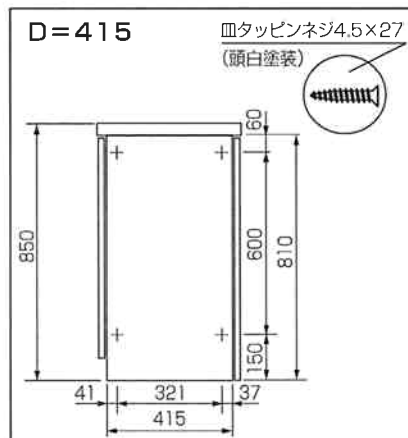
⚠警告

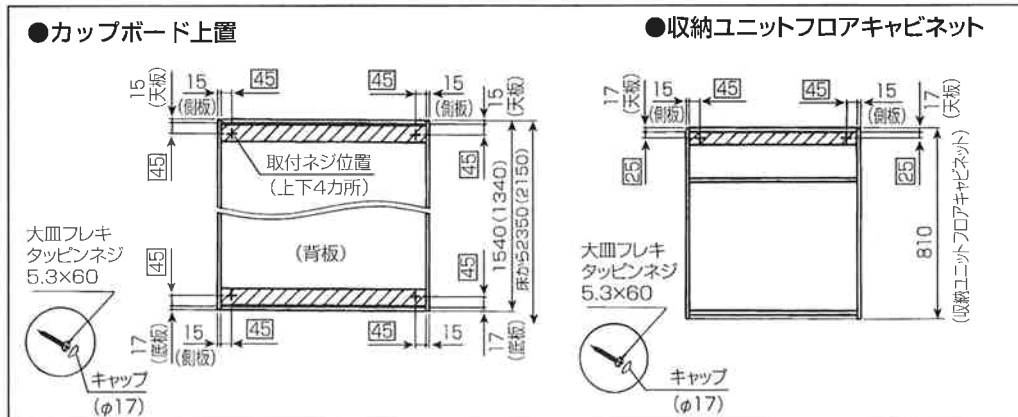
以下の事項と条件を必ず守って取付・設置する。
守らないとウォールキャビネットの落下、カップボードが転倒するおそれがあります。

- **取付ネジをしめすぎて空回りしたり、ネジ頭をとばしたりしないように確実に固定する。**
- **取付ネジは必ず同梱しているネジを使用し、取付桟にネジが25㎜以上かかるようにする。**

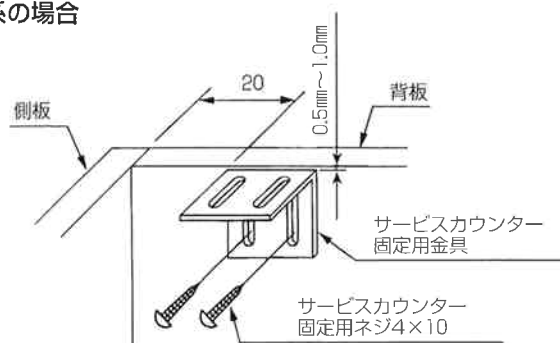
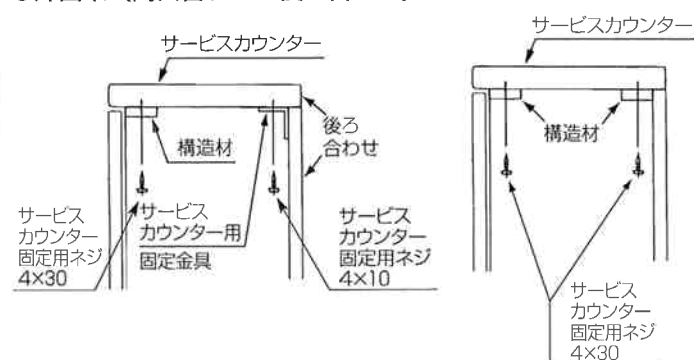
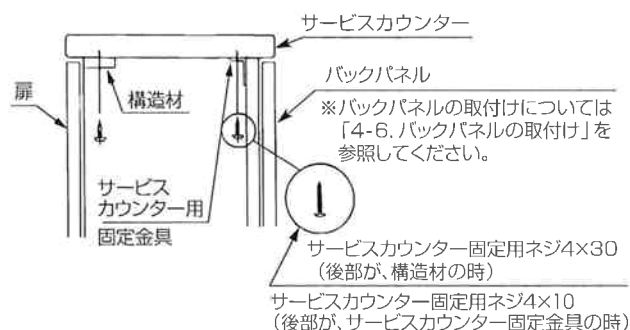
収納ユニットフロアキャビネットには、連結用の下穴(φ7)があいています。

4-3 収納ユニットフロアキャビネットの連結

①キャビネット連結用の下穴(φ5)があいています。連結用の下穴がない場合は右図の位置を参考にあけてください。
②キャビネット同士の側板の前面を合わせ、隣のキャビネットと付属のネジで連結します。

4-4 カップボード上置と収納ユニットフロアキャビネットの壁面固定

①取付桟の位置を確認した上でキャビネット背板の取付ネジ位置にあらかじめ下穴(φ4.5～φ5)をあけてください。
②キャビネットを同梱のネジで固定してください。続いてキャップ(φ17)を取付けてください。

4-5 サービスカウンターと収納ユニットフロアキャビネットの取付け〈サービスカウンターと収納ユニットフロアキャビネットは別々で納入されます〉

①サービスカウンターを固定する前に同梱の金具を取付けます。
収納ユニットフロアキャビネット内に入っている同梱のサービスカウンター固定用金具を図の位置に同梱のネジで固定してください。

※サービスカウンター固定用金具は左右に固定してください。
（間口900のダイニングフロアキャビネットはセンターにもカウンター固定用金具を取付けてください。）

②収納ユニットフロアキャビネットの上にカウンターを固定します。
●サービスカウンターとキャビネットの位置合わせ後、構造材及び天板の通し穴とカウンター用固定金具を使い、キャビネット内側よりサービスカウンターを同梱のネジで固定してください。

③キャビネットを床面固定してください。（片側・両側がオープンの場合）

⚠警告		
	●正しく固定されていない場合、キャビネットが倒れてけがをするおそれや製品が変形し破損するおそれがあります。	
	●床面固定する際は、必ず床暖房の位置を確認してください。床暖房がある位置に床面固定すると、床暖房のチューブを破損するおそれがあります。	

●キャビネット底板に下図の位置にφ5の下穴を4箇所あけてください。 寸法はキャビネットの内寸になっていますので、キャビネット内側からけがいてください。
●桟木（W50×H33×D325）を現場で調達してください。桟木に両面テープを貼って、 床面固定用の下穴があけている位置に貼り付けてください。
※桟木は、15mm材と18mm材を重ね合せたものでも可。
●収納ユニットフロアキャビネット底板のφ5の下穴（下図）から、同梱のネジで床面に4箇所固定してください。
続いて、キャップ（φ17）を取付けてください。

4-6 バックパネルの取付け

①キャビネットの背板にバックパネルに同梱されている付木を右図の位置に両面テープで貼り付けてください。
②キャビネットの背板上端に合わせ、バックパネルに同梱されている木口テープを間口いっぱい貼ってください。(収納ユニットフロアキャビネットのみ)
③キャビネットの背板にバックパネル固定用穴（φ4.5～φ5）をあけ、キャビネット内側より同梱のネジで固定し、キャップ（φ17）を付けてください（キャビネット下端合わせ。）
※収納ユニットフロアキャビネット用バックパネルには上下があります。裏面の間口方向にスペーサーが取付いている方が上側です。
※間口が1050以上のキャビネットの場合、バックパネルは分割になります。
パネルを固定する際には、［　］内の位置にもネジで固定してください。(間口900以下は、［　］内の位置には固定しません)

4-7 天吊ウォールキャビネットの取付け

●中央部のボルト位置は、キャビネットのセンターではありません。取付け前に位置を確認してください。
●吊りボルト(M8)、六角ナット、平座金、袋ナットは別途手配となります。
①天井裏の梁等に補強材を取付けて、吊りボルトを固定してください。**大工工事**
②キャビネットの吊り高さに合わせて吊りボルトの長さを調整してください。
アンカーを使用する場合は、吊りボルトの長さを取付け高さに合わせて切断してください。
③吊りボルトにキャビネットを固定します。この際、吊りボルトには六角ナットを2個付けた後、キャビネット本体天板をボルトに通し、下から平座金1個と袋ナット1個で締めつけ固定してください。

図は上面図を示します。

5 家電収納ハイカウンターキャビネットの取付け

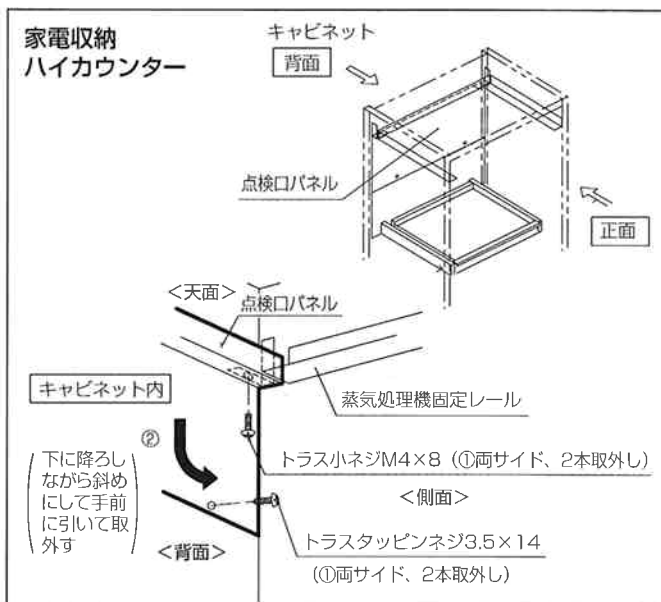
⚠警告

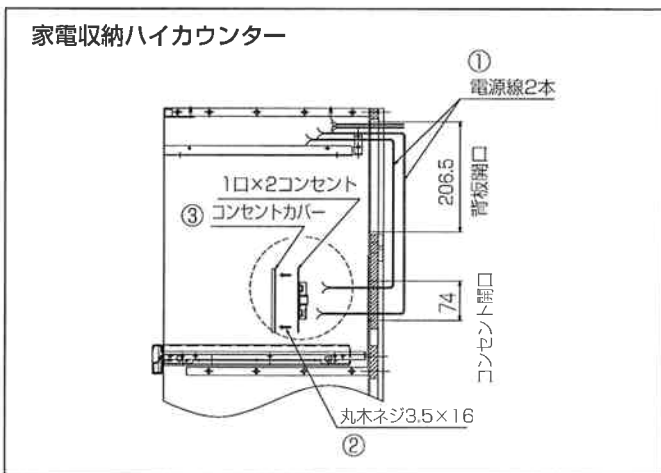
以下の事項と条件を必ず守って設置する。
守らないとキャビネットが落下転倒するおそれがあります。

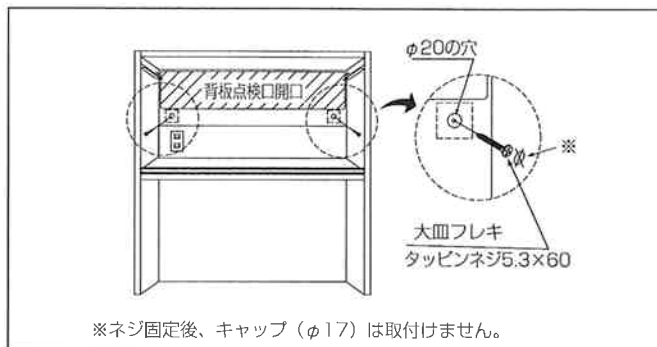
●**取付ネジをしめすぎて空回りしたり、ネジ頭をとばしたりしないように確実に固定する。**	●**取付ネジは必ず同梱しているネジを使用し、取付桟にネジが25㎜以上かかるようにする。**

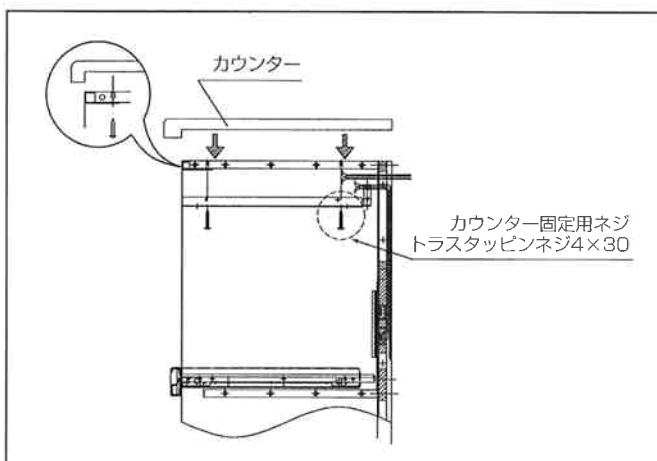
■蒸気排出ユニット付の取付・設置手順

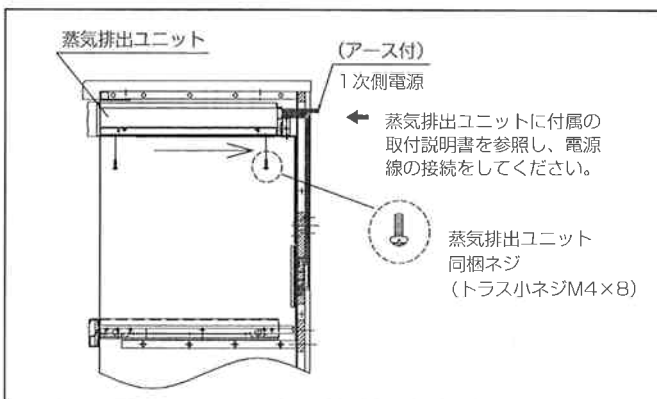
5-1 点検口パネルの取外し

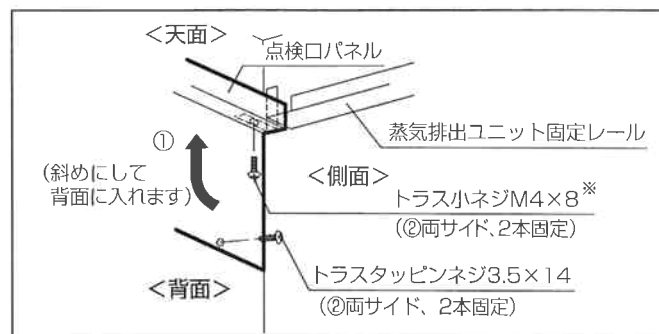
①点検口パネルは、天面2本、背面2本でネジ固定しています。手で押さえながらネジを外してください。
②点検口パネルを下に降ろしながら斜めにして手前に引いて外してください。
※コンセントが付いている場合は、コンセントカバーを外してから点検口パネルを外してください。

5-2 電源線の引込み・接続、コンセントの取付け

①同梱してある電源線2本を下図のように片側を背板開口からコンセント開口に通して引込んでください。
電源線の被覆をむいて1口×2コンセントに差し込んでください。
②コンセントに電源線を差し込んだ後、コンセントを同梱のネジで固定してください。
③コンセントカバーを取付けてください。
※コンセントへの電源線の差し込みについては、「5-7.コンセントへの電源線の差し込み」に従ってください。

5-3 壁面固定

●家電収納ハイカウンター
背板に壁面固定用の穴（φ20）が2箇所あります。その穴にキャビネット同梱のネジで壁面に固定してください。

5-4 カウンターとキャビネットの固定

カウンターをキャビネット同梱のネジで6箇所固定してください。

5-5 蒸気排出ユニットの取付けと電源線の接続

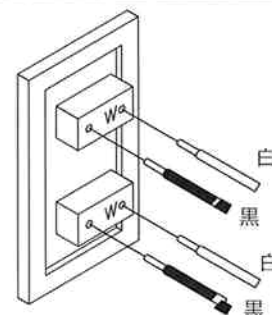
①蒸気排出ユニットに電源線（1次側電源アース付）を2本接続してください。 **電気工事**
②電源線の接続が終えたら蒸気排出ユニットをキャビネットに収めてください。
③蒸気排出ユニットを蒸気排出ユニット同梱のネジで左右各2箇所固定してください。

5-6 点検口パネルの取付け

①点検口パネルを斜めにして背面に入れてください。
②手で押さえながら、背面からネジ固定をしてください。
続いて天面もネジで固定してください。

5-7 コンセントへの電源線の差し込み

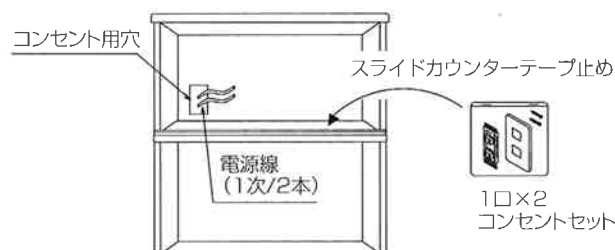
⚠注 意

差し込みが不十分ですと火災のおそれがあります。

①同梱のコンセントの差し込み穴に同梱の電源線を差し込んでください。
②「W」と書かれている方に白色の電源線、もう一方には黒色の電源線を差し込んでください。
③「カチッ」と音がするまで、確実に差し込んでください。必ず、引っ張って抜けがないかを確認してください。

●コンセントへの電源線の差し込み

■蒸気排水ユニットなしの取付・設置手順

●壁面固定
↓
●カウンターとキャビネット固定
↓
●コンセント用電源線の引き込み

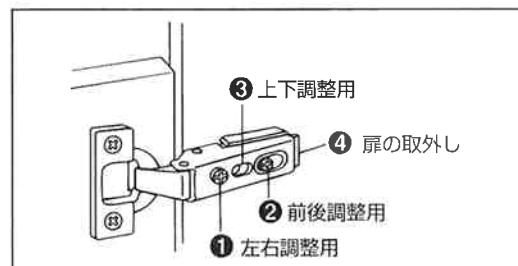
●蒸気排出ユニットなしの家電収納の場合はコンセントの穴に電源線を引き込んでください。

6 引出し・扉の調整方法

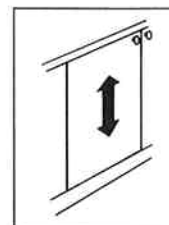
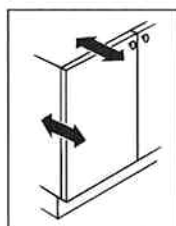
6-1 扉の調整方法

⚠注意

工事終了後、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認してください。
使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。

扉は左右や前後のズレがないように取付けられています。微調整が必要なときは丁番の❶・❷・❸のネジでおこないます。

扉を取外したいとき
ワンタッチ丁番の尾の❹部分（矢印部）を下から押上げると簡単に外れます。取外す際は、扉をしっかり支えながらおこない、扉やキャビネットを傷付けないよう気をつけてください。

●左右調整
❶のネジを右に回すと丁番側に移動し、左に回すと丁番の反対側に移動します。

●上下調整
上下に扉が片寄っている場合は、❸のネジを緩めて座金の位置を調整します。(上下2本の丁番を調整してください)

●前後調整
前後の開きは❷のネジで調整できます。

●調整の確認
扉調整後は、すべての丁番の❷と❸のネジが締めつけられていることを確認してください。

6-2 扉キャッチの調整方法

※扉キャッチの調整は、必ずキャビネットの設置・扉の調整をした後におこなう。

1設置方法

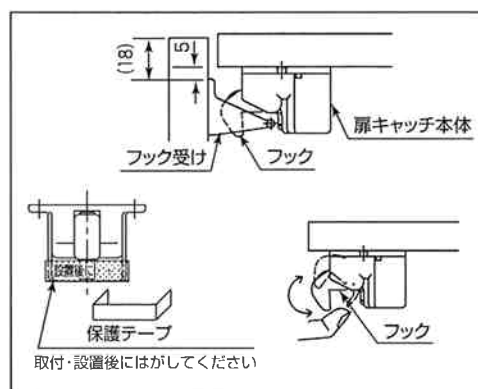
①フック受けの調整

フック受けのネジをゆるめ基準位置に調整し、ネジをしめつけてください。

②保護テープをはがす

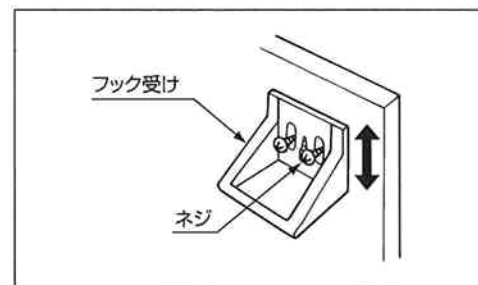
扉キャッチ本体に貼付けてある保護テープをはがし、フックがスムーズに上下するか確認してください。

③開閉確認

扉をゆっくり開閉しながら、扉が正常に開閉することを確認してください。
扉を開けたときにフックが上がった状態であることを確認してください。

2. 調整方法

フック受けを固定しているネジをゆるめ、上方向2㎜・下方向2㎜の範囲で調整し、ネジをしめつけてください。

〈扉キャッチ許容範囲〉

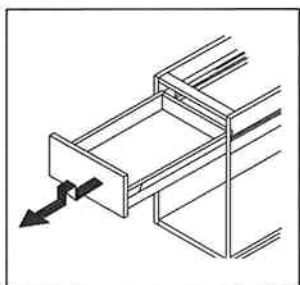
フック受けの許容範囲は、基準位置に対し±2㎜

⚠注意	**フック受けの調整は確実におこなう。** フック受けが正しい位置に付いていないと、扉キャッチが正常に動作しません。

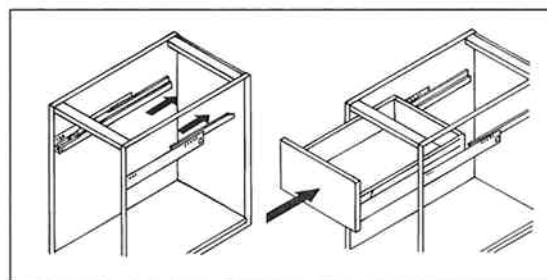
※動作原理 振動があると、フックが常に下がった状態となり、フック受けを拘束し扉が開かなくなります。

6-3 スチール製引出し（グレー）タイプの調整方法

■引出しの取外し・取付け

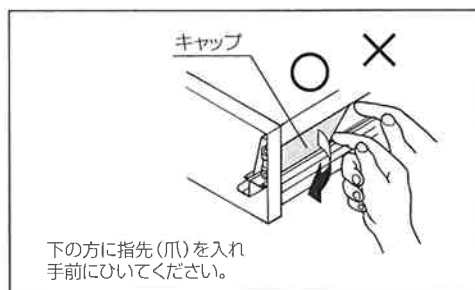
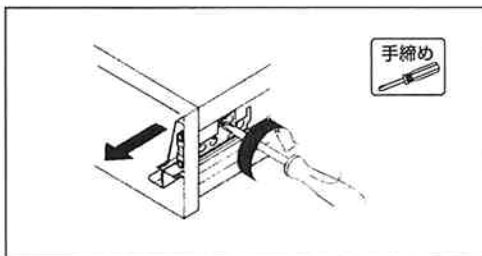
1. 引出しの外し方

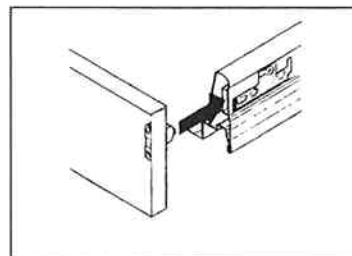
引出しを全開にし、少し上に持ち上げながら引いてください。

2. 引出しの取付け方

引出しをレールにのせそのままキャビネットの中へ押込みます。"カチャ"という音で正しく入ったか確認できます。

■鏡板の着脱方法

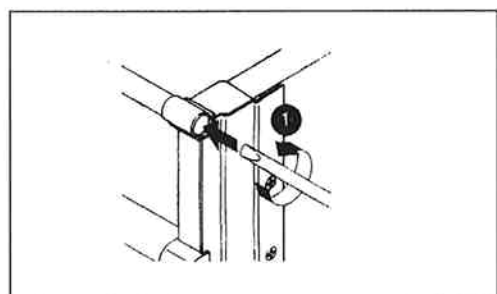
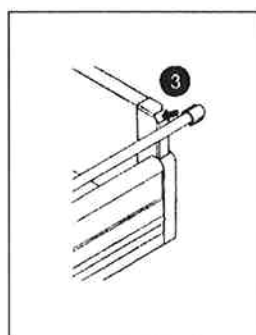
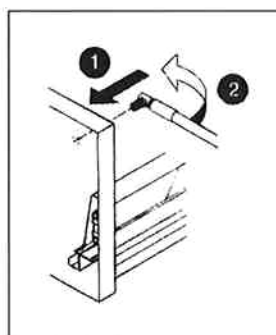
1. 外し方

①キャップを指で引っ掛けて取外します。

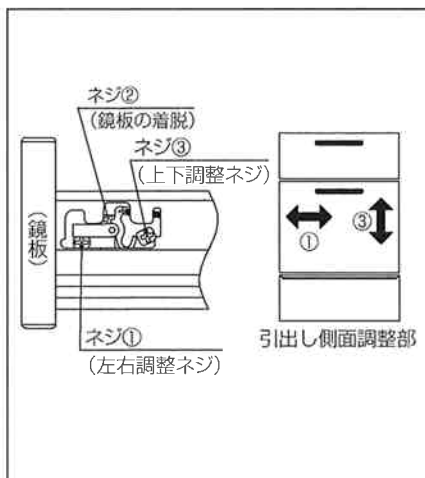
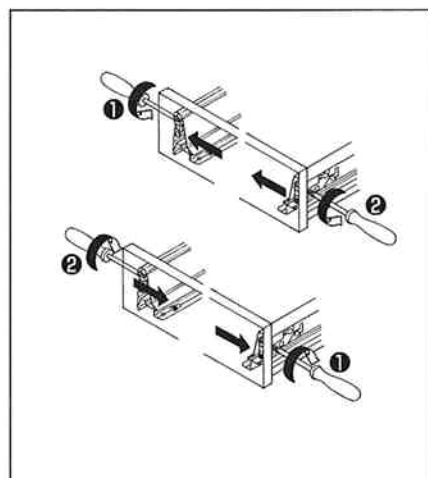
下の方に指先(爪)を入れ
手前にひいてください。

②プラスドライバーをネジ②に差し込み、右に回すと外せます。

2. 取付け方

鏡板をそのまま引出しに押し込みます。

■サイドギャラリの着脱方法

1. サイドギャラリ外し方

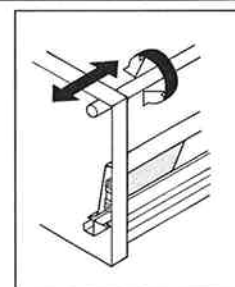
マイナスドライバーでサイドギャラリの後部から差し込み、ひねると外れます。

2. サイドギャラリ取付け方

■鏡板の左右・上下・あおり調整

1. 左右調整

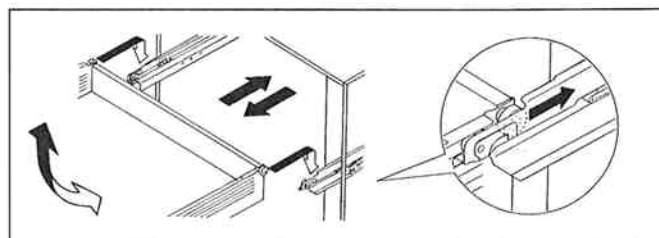
図のネジで左右調整をしてください。

2. 上下調整

図のネジで上下調整をしてください。

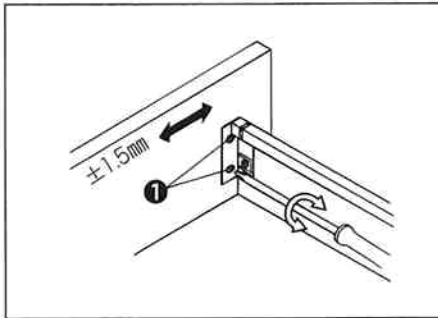
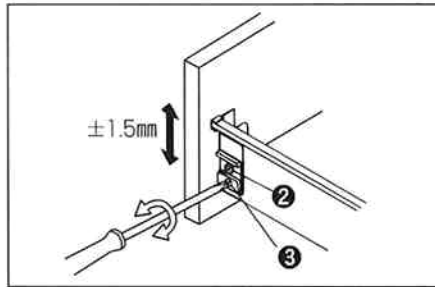
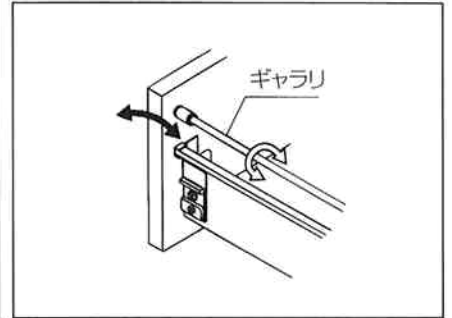
3. 前板の傾き調整

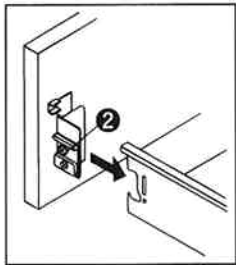
サイドギャラリを左回して調整すると、キャビネットの長さが変化します。これで傾きを調整します。

6-4 スチール製引出し（白色）タイプの調整方法

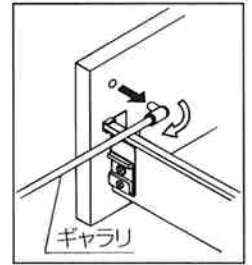
1. 引き出しの取外し・取付け

完全に引き出した状態で持ち上げ、そのまま引き出しを外します。取り付けは引き出しに付いているローラーとレールがかみ合うように引き出しを入れてください。

2. 鏡板の左右・上下調整および着脱方法

〔引出し鏡板の調整〕

1. 左右調整
❶のネジ(左右)をゆるめると左右に鏡板が動かせます。

2. 上下調整
❷のネジをゆるめ❸のネジを回すと上下に鏡板が動きます。調整後❷のネジをしめます。

3. 鏡板のあおり調整
ギャラリを左右に回しあおりを調整してください。

■鏡板の着脱方法

1. 鏡板の取り外し
❷のネジ(左右)をゆるめて鏡板を取り外してください。

2. ギャラリの取り外し
スチール背板の後部に引っ掛けているギャラリの爪をマイナスドライバーで外してください。

ギャラリを図のように折り曲げ、ギャラリを取り外してください。

7 仕上げ・付属部品の取付け

7-1 目地処理をする

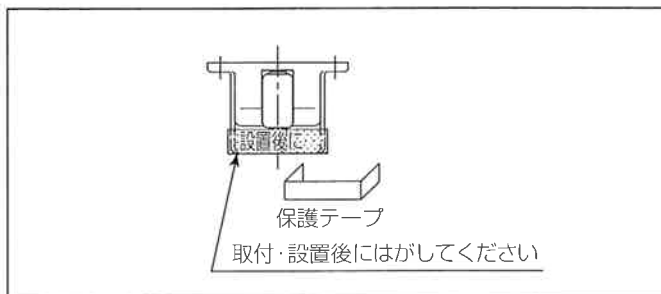
⚠警告

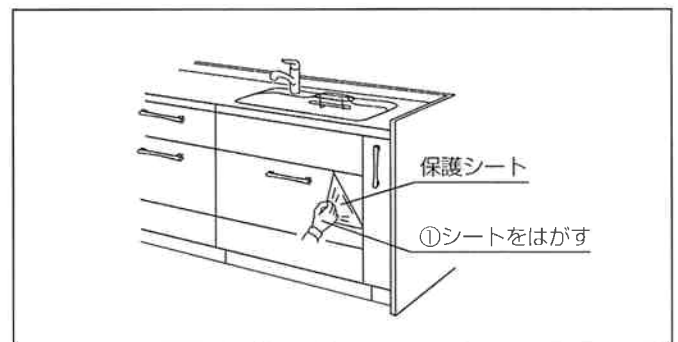
シリコーンで埋める場合、部位によって内装工事となる場合があります。建築壁とカウンターの間は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」がおこなう。キッチンパネルの場合はこの限りではありません。

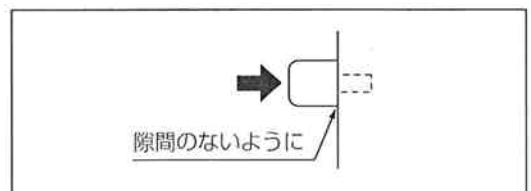
⚠注意

カウンターと、壁またはエンドパネルの合わせ部はシリコーンを充填する。
埋め方が不完全な場合、水こぼれでユニットやエンドパネル、および床や壁をいためるおそれがあります。

7-2 扉キャッチ

「扉キャッチ」の保護テープをはがしてください。

7-3 保護シートをはがす

取手がある場合、取手を取り付ける前に保護シートをはがしてください。
取手を取り付けてからはがすと、取手部にシートが残ります。
保護シートのはってある扉・取付部材は、下図のようにシートをはがしてください。

7-4 棚板のセット

棚受けは隙間のないように奥まで差込み、棚板を確実に乗せてください。

8 取付・設置担当者へのお願い

8-1 清掃と養生

●取付・設置後のキャビネットや扉のホコリ・汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。
家具用ワックスやシンナー、アルコールなどの溶剤または研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。変色したり、光沢をなくしたりして、扉やキャビネットの表面を傷めます。
●取付後、内装工事などの後工事がある場合は養生をおこなってください。

●養生につかう段ボールは梱包材を使用してください。
●養生につかうテープは粘着力の弱いものを使用してください。

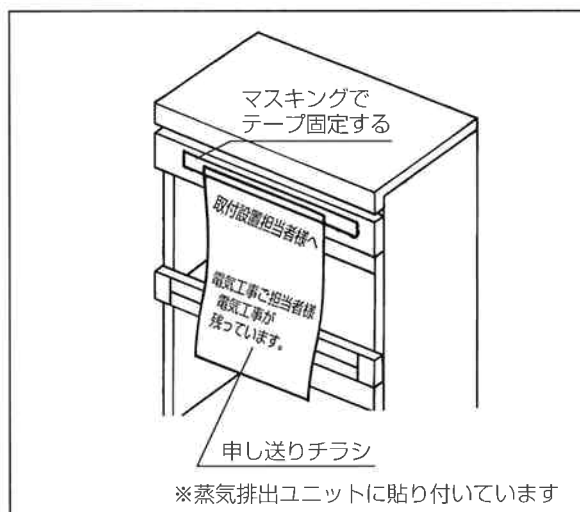
8-2 取付・設置後のチェック

●キャビネットが確実に固定されているか確認してください。

⚠注意	**扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを確認する。** 使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。	

8-3 後工事の説明と引継ぎ

●建築工事側でおこなっていただく後工事は、必ず建築工事担当者に引き継いでください。
●取扱説明書は確実にお客さまに届くよう配慮してください。
●蒸気排出ユニットの接続（電気工事）があるため、必ず蒸気排出ユニットの前面パネルに申し送りチラシをマスキングテープで貼り付けてください。貼り付けは、必ず前面パネルのアルミ部分にしてください。（塗装部への貼り付けは避けてください。）

※蒸気排出ユニットに貼り付いています

8-4 廃棄処分について

●廃棄処分の際は、必ず専門業者に依頼してください。